

学習の指針（シラバス）

教科名	美術科	実施学年	1年	週時数	1. 3時間
-----	-----	------	----	-----	--------

1 学習の目標

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表現することができる。
- ・美術作品の造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、デザイン性などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し、構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができる。
- ・楽しく美術の活動に取り組む創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	オリエンテーション	・生活のなかにある美術の鑑賞を通し、美術を学ぶ意義を考える。	1	作品制作への 取り組み ワークシート 作品 振り返りカード
	5	レタリング	・レタリングの役割を理解しよう。	4	
	6	絵の具の使い方	・用具の扱い方を理解し、効果的に紙や用具を使って絵が描けるようにする。 ・色相環図を利用し、混色の幅を広げる。	5	
	7	ポスター制作	・クロッキー帳にレタリングし、着彩することで筆の扱い方や、色彩が感情にもたらす効果を理解する。 ・見やすく、わかりやすい構成を考える。 ・伝えたい情報をポスターで表現する。	8	
第2学期	9	寄せ木細工	・日本の木彫伝統工芸品の鑑賞を通し、木の良さを感じる。 ・使う人や用途に応じたデザインの構想を練る。 ・木の特性を理解し、木の加工方法を身に付ける。	10	作品制作への 取り組み ワークシート 作品 鑑賞プリント 振り返りカード
	10		・デザインや意図に応じて表現を工夫し、見通しを持って制作する。		
	11		・完成した自他の作品を相互に鑑賞し、よさや美しさ、表現の意図や工夫を感じ取る。		
	12	等角図	・等角図を用いて立体的な秘密基地迷路の構想を練る。 ・平面の画面の中に空間を感じ取る能力を養う。	5	

第3学期	1 2	等角図（続き）	<ul style="list-style-type: none"> 色の三要素（色相・明度・彩度）について学習し、絵の具の発展的な技能を身に付ける。 	6	作品制作への 取り組み ワークシート 作品 鑑賞プリント 振り返りカード
	3	絵漢字	<ul style="list-style-type: none"> 自己の性格を見つめ、自分を表す感じを創造し、構想を練る。 漢字の意味と、漢字の造形的な特徴から構想を練り、表現する。 自他の作品を相互に鑑賞し、作品のよさや、美しさ、自分の性格をどのように表現したのかなどを作品から感じ取り、作品の見方や感じ方を広げる。 	4	

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	形や色彩、材料となる素材、光が感情にもたらす効果や、用具や材料の取り扱い方や特性を理解し、意図に応じて自分の表現法を追求し、創造的に表すことができているかを、作品より判断する。	作品
思考・判断・表現	感じ取ったことや考えたことを基に、創造的な工夫をし、課題に応じた心豊かに表現の構想を練ることができているかを、ワークシートや作品などから判断する。	アイディアスケッチ ワークシート 鑑賞プリント 作品
主体的に学習に取り組む姿勢	美術的な知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について家庭での技能の練習や、調べ学習などを通じ、試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら、学ぼうとしているかを提出物などから判断をする。	作品制作への取り組み アイディアスケッチ 鑑賞プリント 作品 振り返りカード

4 家庭学習（予習、復習、提出物等）について

- ・家庭でも日頃から美術作品について調べてみると表現の幅が広がるでしょう。
- ・提出物は、必ず期限内に提出しましょう。

5 教材等について

- ・教科書：美術1（開隆堂）
- ・その他：ポスターカラー、スケッチブックを使います。